

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年5月31日(2018.5.31)

【公表番号】特表2017-513503(P2017-513503A)

【公表日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2016-564068(P2016-564068)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|-------|-----------|
| C 1 2 N | 15/09 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 14/47 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 16/00 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 19/00 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 5/10 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 38/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 35/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 31/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 29/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 3/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 37/06 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 43/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 19/02 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 25/28 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|-------|---------|
| C 1 2 N | 15/00 | Z N A A |
| C 0 7 K | 14/47 | |
| C 0 7 K | 16/00 | |
| C 0 7 K | 19/00 | |
| C 1 2 N | 5/10 | |
| A 6 1 K | 37/02 | |
| A 6 1 P | 35/00 | |
| A 6 1 P | 31/00 | |
| A 6 1 P | 29/00 | |
| A 6 1 P | 3/00 | |
| A 6 1 P | 37/06 | |
| A 6 1 P | 43/00 | 1 0 5 |
| A 6 1 P | 29/00 | 1 0 1 |
| A 6 1 P | 19/02 | |
| A 6 1 P | 25/00 | |
| A 6 1 P | 25/28 | |

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月16日(2018.4.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 9 に示すアミノ酸配列を有するポリペプチドを含む T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 2】

配列番号 1 9 に示すアミノ酸配列を有する 2 つのポリペプチドの ダイマー を含む T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 3】

前記 2 つのポリペプチドが、各ポリペプチドのシステイン残基 5 1 3 、 5 1 9 及び 5 2 2 間に形成された 3 つの鎖間ジスルフィド結合を介して共有結合している、請求項 2 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 4】

前記ポリペプチドの 1 6 8 位及び 3 3 7 位のアスパラギン残基の 1 個以上が、 N - グリコシル化されている、請求項 1 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 5】

前記ポリペプチドの 1 6 8 位及び 3 3 7 位のアスパラギン残基の両方が、 N - グリコシル化されている、請求項 1 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 6】

前記ポリペプチドが、更に翻訳後修飾されている、請求項 1 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 7】

前記翻訳後修飾が、 N 末端グルタミンのピログルタメートへの修飾を含む、請求項 6 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質、並びに 1 つ以上の医薬的に許容され得る担体、希釈剤、賦形剤及び / または佐剤を含む医薬組成物。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質をコードする核酸分子。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の核酸分子を含む発現ベクター。

【請求項 11】

請求項 9 に記載の核酸分子を含む 単離された細胞。

【請求項 12】

真核細胞である、請求項 1 1 に記載の細胞。

【請求項 13】

前記細胞が哺乳動物細胞である、請求項 1 1 に記載の細胞。

【請求項 14】

前記細胞がチャイニーズハムスター卵巣 (C H O) 細胞である、請求項 1 1 に記載の細胞。

【請求項 15】

癌 を有する被験者に対して、有効量の請求項 1 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質を投与することを含む、癌 の治療方法。

【請求項 16】

前記癌 が、腫瘍 を含む、請求項 1 5 に記載の方法。

【請求項 17】

前記腫瘍が固形腫瘍である、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 18】

前記腫瘍がリンパ系腫瘍である、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 19】

前記ポリペプチドの 1 6 8 位及び 3 3 7 位のアスパラギン残基の 1 個以上が、 N - グリコシル化されている、請求項 3 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 20】

前記ポリペプチドの 168 位及び 337 位のアスパラギン残基の両方が、N - グリコシル化されている、請求項 19 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 21】

前記ポリペプチドが、更に翻訳後修飾されている、請求項 19 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 22】

前記翻訳後修飾が、N 末端グルタミンのピログルタメートへの修飾を含む、請求項 21 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質。

【請求項 23】

請求項 3 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質、並びに 1 つ以上の医薬的に許容され得る担体、希釈剤、賦形剤及び / または佐剤を含む医薬組成物。

【請求項 24】

癌を有する被験者に対して、有効量の請求項 3 に記載の T R A I L 受容体アゴニストタンパク質を投与することを含む、癌の治療方法。

【請求項 25】

前記癌が、腫瘍を含む、請求項 24 に記載の方法。

【請求項 26】

前記腫瘍が固形腫瘍である、請求項 25 に記載の方法。

【請求項 27】

前記腫瘍がリンパ系腫瘍である、請求項 25 に記載の方法。